

中央公民館だより

広神公民館

夏休み

自然でおもしろい

遊ぼう教室



「冬来りなば・・・」

魚沼市図書館協議会委員長 櫻井 佳代子



図書館に行ったことありますか？図書館は時間内であれば誰でも利用できます。図書館は「文学作品」「児童書・絵本」が多いという印象があるのではないのでしょうか。地域図書館である魚沼市の図書館には各種新聞や雑誌、ビジネス書、実用書、話題の本、そして地域の資料の収集、保存をしています。年間活動では人気絵本作家の「絵本ライブ」、「DVD上映会」、好きな本を互いに紹介する「本の森お話会」、赤ちゃんのためのブックスタート事業や、「紙芝居」「絵本の読み聞かせ」「人形劇などのボランティア活動」等も行われています。一般図書以外にも、コミック、映像（DVD）やCDの貸出も無料。読みたい本があれば調べてもらえたり、入手のために他の図書館から取り寄せしてもらうこともできます。インターネットを利用し、調べたいことを検索できるようにもなっています。

図書館は国の「図書館法」に則った施設。図書館は世界各国で設置され、図書館学なる学問もあります。インドの図書館学者ラングナタンの「図書館学五法則」、米国の図書館協会の「米国の社会に役立つ図書館の十二ヶ条」などに図書館のめざすものが示されています。その中には、こんなことも書かれています。

- 1 図書館は一人一人を大切にします。↓自由に学ぶ権利と知る権利を保証し、利用者のプライバシーを守ります。
- 2 図書館はコミュニティをつくり出します。↓共通の興味関心を持つ人を情報によって結びつけることができます。
- 3 図書館は心の安らぎの場を提供します↓図書館は日常から解放され、一人で滞在可能な、家庭、職場（学校）以外の第三の居場所にもなります。

今年の冬、図書館に足を運んでみると、自分自身をふりかえり、暮らしについて考えるヒントや、新しい何かに出逢えるかもしれません。春に向けてのエネルギーを図書館でいっぱい蓄えませんか。

はじめてのチョークアート

入広瀬地区

村山 あき子



入広瀬公民館ギャラリーに地域の方の作品が飾ってあり、ちぎり絵、手芸、絵画、陶芸などの手作りの力作を見ると心豊かになり、私も何か作ってみたいと思うようになりました。三年前から陶芸教室に入って楽しんでいました。今回、公民館の方から「チョークアート教室がありますよ」と声をかけていただきました。参加しました。チョークアートといえば、おしゃれなレストランの前に置いてある黒板に絵や文字が外国風に描かれている、ステキな看板です。



チョークアート教室は、夏休みの時期で、午前の部は「ドングリ」を、午後の部は「動物」を描く教室。親子で参加された方も多く楽しい雰囲気の中、どの方もすばらしい作品が出来ました。私は午前の部に参加し黒板のドングリの線にそってパステルで色をぬり、その上から指でなでながらボカシの部分を工夫し、完成が近づくにつれ、秋の落葉によりそう可愛いドングリ坊やが出来ました。

最後は英語文字の手本の中からどんな文字を書こうか？選ぶのも楽しく、私は「Happy」に決めて書きました。楽しい時間があっという間に経ち、また来年も参加したいと思います。

夏の思い出

守門地区

佐藤 祐子



日本の歌曲「夏の思い出」で知られる尾瀬へ鳩待峠からハイキングに参加しました。沼山峠から尾瀬沼へ入るコースは行ったことがありますが、鳩待峠から尾瀬ヶ原へ入るコースは、中学生のとき家族で訪れて以来で、私にとって家族との夏の思い出の場所です。ゴツゴツとした石段を滑りやすいのでゆっくり歩き、澄んだ沢の水のそばを通過し、木道の階段を下ると、マイナスイオンたっぷりとても清々しい気持ちになりました。

山ノ鼻ビジターセンターで昼食をとり、花豆ソフトクリームを横目を通り過ぎ、牛首分岐を目指し木道を歩きました。途中、ワタスゲ、トキソウ、コバイケイソウ、咲き始めたばかりのニッコウキスゲ等の植物をガイドさんから説明してもらい、山紫水明の地と呼ぶに相応しい場所でした。子供のころは、キャンプのワクワク感だったり、夕食の事などが楽しみで、木道もこれほど整備されていなかったように記憶しております。

そんな中、かなり軽装でマナーを守らない外国人観光客がいました。尾瀬は日本における「自然保護発祥の地」と呼ばれているそうです。この美しい尾瀬の自然を後世に残さなくてはならないですね。結びに、スタッフの素晴らしい対応で、無事帰路に着くことができました。ありがとうございました。

夏休みに

自然をいっぱい体験して

広神地区

大平 しずく

夏休みに、いろんな体験がしたい！と思い友達を誘って「自然で思いっきり遊ぼう教室」に参加しました。

教えてくれた先生は中山元喜さんで「気軽に元さんと呼んでください」と言ってくれて、とても優しい先生でした。

戸隠溪流公園で、木を当てるゲームや水鉄砲大会、小黒川で水遊びをして、最後に自分で火をおこして焼きマシユマロを作って食べました。

木を当てるゲームでは、二人一組になって、一人が木を決めて、もう一人が目隠しをして木の大きさや手ざわり、においや枝の位置などで、ペアの人が決めた木を当てます。初めてやって楽しかったです。

小黒川は、冷たくてきれいで、魚がいました。焼きマシユマロは、少しこげたら食べ頃で、とろとろでおいしかったです。

自然がいっぱいの公園で友達と沢山の体験ができて、楽しかったです。



楽しいノルディック・ウォーク

入広瀬地区

森田 享子

新潟県に移住して三十数年が経ちました。新潟に移住しての三十数年間を振りかえり、『何のために新潟に越して来たのだったかなあ』と改めて考えてみると『そうだ！スキーがしたかったんだ。』新潟に引越したきっかけを思い出しました。そして、今年の正月明けから思い切ってスキーを再開しました。始めは初級から、三月には中級者の仲間入りをさせて頂きました。何歳になってもスキーが続けられるようにと足腰強化の為に、一日三十分以上、週三日以上を目標に歩き始めました。

数か月経った頃、職場の友人から『今度ノルディック・ウォークがあるよ』と教えて頂き、以前より興味があつたので参加の申込みをしました。当日はあいにくの小雨が降っていたので体育館のピロティでのプログラムでしたが、基本を教わり直ぐに皆でポールを持って歩いたり、ゲーム感覚で早歩きしたりしてとても楽しい時間を過ごせました。

次回のノルディック・ウォークを楽しみに日々のウォーキングで足腰を鍛えておきたいと思えます。



作品を振り返って

守門地区

橘 光雄

子どもの頃から絵に興味を持ち、細かい事が好きだったので、中学を卒業して長岡の「保坂図案家」に二年間勤めました。

ここでは、十日町市の織物工業から依頼される着物の絵羽織やお召、訪問着などの図柄を描いていました。

その後、家業の関係でその職場を辞めてから長い間自分の好きな事はなかなか出来ませんでした。が、定年退職後ようやくゆとりが出来たので、趣味の絵を描くようになり、又長い間多くの人からの協力で使用済み切手も集まったので、古切手を使った貼り絵をやってみました。

そんなある日、公民館長から今までの作品を展示してみないかと誘われ、八月に公民館ギャラリーで作品展を開かせていただきました。

これらの作品を大勢の人から見ただけ事が出来て大変に感謝しています。

多くの皆さんもご自分の趣味を持ち、喜びを感じながら楽しく過ごせるよう願っています。



子育て教室に参加して

広神地区

松木 梓

母になって初めて参加した、公民館での教室。公民館での教室などあまり興味の無かった私ですが、たまたま市報を見ていて「子育て教室」と載っていたので、軽い気持ちで参加してみようかな〜と思い参加してみました。

子育て教室は全4回。1回目は、自然なオムツはずしと排泄コミュニケーション、オムツなし育児。2回目は、足育、足のことを学ぼう。3回目は、子どもの可能性を未来に繋ぐ発育発達のヒミツ。4回目は、お顔のリンパ流しと虫よけスプレー作りでした。

全部の教室に参加してみて、排泄のコツやポイント、正しい靴選びや履き方、将来何にでも挑戦できる体を育むために大人ができる事、アロマで虫よけスプレー作りやお顔のリンパ流しのやり方など教えてもらったりと、どの教室もととても勉強になる教室ばかりでした。参加しなければわからない事もたくさん学ばせてもらったり、ママ友ができたりと、とても楽しい教室でした。



思い出深い銀の道

湯之谷地区

星

甫



公民館長より、九月二日に銀の道の案内をしてくれないかと依頼があり、引受け同行することにした。

当日は、大変良いお天気に恵まれ銀山平側から登り始めた。あまり登山者がいないのか小枝を払いながら歩く。荒沢方面の荒々しい山を見ながらの登山。大明神近くには、シラネアオイの群生に出会い一瞬歓声があがった。お昼は三角点、千二百三十六米。ここでも、ギフチョウが舞う珍しい光景に出会った。

銀の道は峠を境に大湯側が全体の三分の二の長い下り坂。残念なことに、峠を境に十九ヶ所に地名の標柱があったはずだが無くなっている所もあり、再建する必要があると思った。

昔の話に、銀山の子供が九合目の日本坂で「日本は広いなあ。」とビツクリしたら、親が「馬鹿野郎。日本は、この三倍もあなあ。」といった笑い話もあるようです。

ご同行されました皆様方、またの機会にお会いできますように。



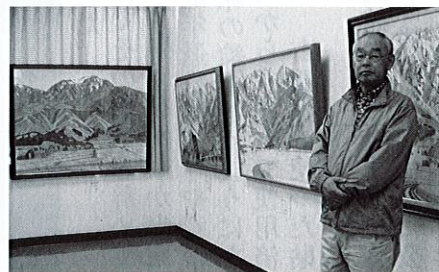
四季の八海山展を開催して

伊米ヶ崎地区

佐藤 悌二

今年退職後冬場の手もんづらにと水彩画を始めて10年の節目にあたり、地域の皆様にご覧いただきたく絵画展を開催しました。

これまでに地域の絵仲間と「三人展」を2回、2年前の個展と合わせ今回で4回となります。



今回の絵画展のテーマである八海山の風景は10年来取り組んできたモチーフであり、八ツ峰を頂点とした形状と尾根や谷の美しさ、四季折々の色彩の変化、光と影のグラデーション、絵を描く人を引き付けるつける魅力がいっぱいの山ですが、反面難しい山でもあります。

今回は大小14点を展示しましたが、大きな作品が多かったため窮屈感を感じさせたのではと思います。

魚沼市内外から大勢の皆様からご高覧いただき、ありがとうございます。

最後に地域内で趣味で創作活動をされている皆様（これまで発表された方も含めて）、公民館を活用して手づくりの作品を発表してみませんか。

目からウロコの簡単和食

小出地区

山本 豊子

八月の終わりに、おだしを味わう京風冷しのつべの料理講習会に参加しました。

のつべは冬の代表的な郷土料理ですが、材料も異なり、だしの効いた薄味の美味しい一品でした。昔はこの家にもあった削り節器とかつお節を目にして、子どもの頃に削らされた事などを懐かしく思い出しました。

簡単にだし汁を作りおく事など教えていただき、パッパツに慣れてしまっている自分を反省した次第です。

たて塩：400ccの水に大きじ1の塩：に野菜を浸すことで、おいしさや栄養面などを逃がさないなど、講師の方の知識豊富なお話を目からウロコで聞きました。我が家の食卓にも何回か並び役立てております。

久しぶりの講習会でしたがとても楽しいひとときでした。

機会があったら、また参加したいなあと考えています。



ふるさと歴史講座

湯之谷郷源泉巡りに参加して

湯之谷地区

星 晴子

秋晴れとなりバスの中も快適でした。湯之谷郷は温泉の宝庫ですが、その貴重な源泉地を見学し、地元の方の説明も受けました。大湯、栃尾又の温泉は古くからの歴史があり、効能がある事が知られています。昭和から平成の初めにかけての掘削で、芋川・宇津野・下折立・折立又新田・駒の湯・銀山平など数多くの源泉があり、自然湧出も多いことにビックリです。これらは、各旅館・ホテル・共同浴場へと利用されています。大地の恵みは素晴らしい宝物です。

お昼は、「銀山平かもしかの湯」で皆さん一緒に開高めし弁当を楽しくおいしく頂きました。

駒の湯からのつり橋を渡ったことも思い出です。

公民館講座にあまり参加できなかったのですが、今後は出来るだけ参加したいです。地域の魅力を知らないなんてもったいない！今後、どんな発見ができるかと楽しみです。



公民館活動とコミ協との連携

伊米ヶ崎地区

伊米ヶ崎公民館長

森山 喜久男

昨年十月に、伊米ヶ崎地区では、地域コミュニケーション「伊米ヶ崎共和国」が発足しました。地域コミュニケーション事業の大きな柱に地域の結びつきの強化があります。公民館とコミ協事業内でお互いに協賛出来る事が多くあり今年度事業において内容に変化が出てきました。

特に、地域事業として小学校とPTAを取り込んで行う運動会と公民館独自で実施していた芸能祭については、地域全体事業として小学校、公民館、伊米ヶ崎共和国の三者連携で地域を盛り上げる事業として実施しました。

芸能祭は、例年三月に実施していましたが、今年は十一月三日に行いました。午前中は小学校の学習発表会、午後は芸能祭と防災訓練を兼ねた非常食の配給と試食、バザー、フリーマーケットを同時開催し大勢の方々より楽しんでもらったイベントとなりました。

今後、地域の活性化につながる事業をコミ協と連携して実施していきたいと思



うち用のかわいいオコジョ

堀之内地区

米山 明日花



堀之内公民館に声をかけられ、私は喜んで「木で動物の置物を作ろう」に参加しました。何を作ろうか考えた時に、尾瀬のことを思い出しました。今年の尾瀬自然教室で、オコジョを見たかったけれど、残念ながら本物のオコジョは見られませんでした。だから、うち用のオコジョの置物を作りたいと思いました。

糸ノコは、学校で使ったことがあったけど、難しかったです。そこで、指導者の山本さんが、「角度が急に変わる所は、ゆっくりゆっくり、回すといよいよ。」と教えてくれました。そして、やってみたら、とても簡単になりました。目やひげで顔の表情を作るのががんばりました。木の節が黒かったので、オコジョのしっぽにすればよかったです作り終わってから思いました。

上手にできて良かったです。堀之内公民館、山本さん、ありがとうございました。また、参加したいと思



公民館 について 語ろう

11月7日、広神コミュニティーセンターで、公民館サポート委員・社会教育委員など公民館にかかわる方々、一般市民の方々、公民館職員が一堂に会し「公民館について語ろう」を実施した。第1部では、市内7地区公民館（入広瀬・守門・広神・堀之内・湯之谷・小出・伊米ヶ崎）の現状と課題について、各地区館長が発表した。第2部では、発表を踏まえ、よりよい公民館活動をつくるための話し合いを参会者で行った。以下は各地区館で話し合われた概要。



入広瀬

旧地区の少子高齢化が進み、幼稚園、中学校の統合等取り巻く環境が変化。講師等人材育成はもとより、青年団のような組織づくり、コミ協、公民館サポート協との連携強化、地域を巻き込んだイベントも効果あり。

守門

お年寄りは外出がままならなくなりつつあり、若者はスマホ等メディアで個人的に楽しむ時代だ。公民館で学ぶ・楽しむをどうやって進めるか、他部局や機関、団体等と腹を据えて考えていかなければならない。

広神

公民館事業の取り組み方の変化、各種団体等との連携の重要性など、参加された地域の皆さんからの貴重な意見を伺う機会となった。出された意見を活動に取り入れながら公民館活動を進めていく。

湯之谷

各公民館が重点を絞って特色を出したやり方は事業が重複せずよい。また、市の公民館としてまとまりがあり、交流も図られていてよい。問題は広報のやり方。コミ協との連携も視野に全員参加の仕掛けづくりや若者の定着につなげることが必要。

伊米ヶ崎

地域の課題に沿った講座をどう公民館で取り組むか。公民館を利用する意識の薄い人が多い。誰でも気軽に立ち寄れる公民館にするには、年間を通じて楽しめる講座の企画が必要。

小出

お年寄から若者、子どもまで気楽に寄れる「おらが公民館」の環境作りも大事。公民館をもっと親しみやすい名称に変えたらどうか。広報も何か見にくい。行事カレンダー風にするなど工夫がほしい。他多数

堀之内

公民館に入りやすくなる環境づくりも必要。一声かける、ネットなどの情報発信工夫やロビーの活用など。ロビーは、学んだ成果の発表の場や絵の展示など。また、体を動かす講座や地域を巡る講座の実施。

☆今後の公民館活動をより身近なものとするような様々な声があった。実現できるものから実施するように努力をしていく。

表紙の👁️

記録的な猛暑となった今年の夏、夏休みに入った子供たちと広神の自然を大いに満喫しました。楽しそうに遊び回る子供たちの表情は、キラリ輝いていました。一緒に遊んだ魚沼っ子の皆、元気に頑張ってるかな。

広神公民館長 山田 弘行

六月に東京新宿区で開催された再結成されて3年目を迎えた「ふるさと入広瀬会」に参加する機会があり、同郷の懐かしい方々で会場は大変盛会でした。

私こと、東京オリンピックが終わって5年目の昭和44年から2年程初めて東京に行つてから来年になると早50年になります。当時住んでいる所から見える都の浄水場跡地の一角に新宿京王プラザホテルの建設で、毎日タケノコが伸びるように高層ビル1棟だけが目立ちました。現在は都庁舎など周りのビルの方がより高く林立しています。新国立競技場も急ピッチで昼夜工事が進み、また当時の建物も建て替えられ、高層マンション、商業ビルに生まれ変わっています。改めて50年の歳月を感じました。2回目の東京オリンピックは1年8ヶ月後の2020年暑い夏に開催されます。

入広瀬公民館長 浅井 健五

だんだん ど〜も

私こと、東京オリンピックが終わって5年目の昭和44年から2年程初めて東京に行つてから来年になると早50年になります。当時住んでいる所から見える都の浄水場跡地の一角に新宿京王プラザホテルの建設で、毎日タケノコが伸びるように高層ビル1棟だけが目立ちました。現在は都庁舎など周りのビルの方がより高く林立しています。新国立競技場も急ピッチで昼夜工事が進み、また当時の建物も建て替えられ、高層マンション、商業ビルに生まれ変わっています。改めて50年の歳月を感じました。2回目の東京オリンピックは1年8ヶ月後の2020年暑い夏に開催されます。